ご　挨　拶

前回の平成29年５月以来、２年振りに、佐倉竹芸保存会 第８回目の作品展を開く運びとなりました。

当保存会は、創始者の中台一司先生が「シルバー人材センター高齢者技能大学校」で竹工芸技術を指導されたのをきっかけとして生まれ現会員を含めて、これまでに 約110名あまりの仲間たちに、その経験と技術が引き継がれてきました。

創設以来37年の間には活動の場を変えながらも会の存続や技術の継承を願う多くの方々の熱き思いとご苦労がありました。

当保存会は、これまで佐倉市の美術展や千葉県美術展、全国竹芸展、日本伝統工芸展、日本新工芸展等に多くの素晴らしい作品を送り出し、数々の賞を受けています。

私達会員２４名は毎週火曜日、草ぶえの丘 の 茅葺き古民家「増田家住宅」に集い、製作活動に励んでいます。

そして今後も竹伐り、ひご作りに始まる作品作りを楽しみながら、昔からの竹工芸の伝統を守り、それらを後世に伝えてゆきたいと願っています。

竹の一本一本が個性を持つように、それぞれの作品が、みなさま方に何かを語りかけ、感動をお伝え出来れば．．と心から願っています。

令和元年 ５月

会 長 小野塚 昇

副会長 菅 勇二、目黒 俊彦